

2017年3月期 第1四半期決算報告

2016/8/9

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

第一生命

- 当四半期の営業業績は、金利水準を踏まえ、第一生命・第一フロンティア生命において一時払保険の販売をコントロールしたため、グループの新契約は減少。ただし、第一生命の平準払保険、海外生保事業の新契約は堅調に推移。
- 第一生命では、年度始よりヘッジ外債の積増しや英国のEU離脱に備えた円高リスクのヘッジなど、収益力の確保とリスク分散に努めたほか、海外生命保険事業の利益貢献が拡大。一方、円高の影響や、第一フロンティア生命の準備金繰入などにより、連結純利益は減益。
- 2016年6月末のグループ・エンベディッド・バリュー(試算値)は、国内金利の低下などにより、3.7兆円と3月末から減少。連結ソルベンシー・マージン比率は785.0%と十分な健全性を維持しているが、7月には本邦保険会社では最大規模となる永久劣後特約付社債25億米ドルの発行を行い、自己資本を一層充実。

- 連結経常収益は、低金利環境を踏まえ販売をコントロールしたため、減収。
- 連結経常利益・連結純利益⁽¹⁾は、円高の影響などで減益も、通期予想対比で想定線。

	16/3期 1Q	17/3期 1Q(a)	前年同期比		<参考>	
			2016/5/13 発表予想(b)	進捗率(a/b)		
連結経常収益	18,710	16,760	1,949	10%	64,600	26%
第一生命単体	11,600	10,221	1,379	12%	37,960	27%
連結経常利益	1,810	1,176	634	35%	4,060	29%
第一生命単体	1,359	1,202	157	12%	3,240	37%
連結純利益 ⁽¹⁾	1,152	484	667	58%	1,970	25%
第一生命単体	768	593	175	23%	1,330	45%

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

■ 連結業績は不安定な金融環境下で減収・減益となったが、通期予想対比で想定線。

連結損益計算書 (要約)⁽¹⁾

(億円)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減
経常収益	18,710	16,760	1,949
保険料等収入	13,362	10,923	2,439
資産運用収益	4,446	3,826	619
うち利息・配当金等収入	2,524	2,559	+35
うち有価証券売却益	993	569	424
うち金融派生商品収益	-	395	+395
うち特別勘定資産運用益	240	-	240
その他経常収益	900	2,010	+1,109
経常費用	16,899	15,584	1,315
うち保険金等支払金	10,900	8,922	1,977
うち責任準備金等繰入額	2,981	21	2,960
うち資産運用費用	463	4,121	+3,658
うち有価証券売却損	130	187	+56
うち有価証券評価損	14	94	+79
うち金融派生商品費用	110	-	110
うち特別勘定資産運用損	-	788	+788
うち事業費	1,452	1,503	+51
経常利益	1,810	1,176	634
特別利益	0	14	+14
特別損失	58	159	+101
契約者配当準備金繰入額	229	259	+29
税金等調整前四半期純利益	1,522	771	751
法人税等合計	370	286	83
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,152	484	667

連結貸借対照表 (要約)

(億円)

	16/3末	16/6末	増減
資産の部合計	499,249	496,771	2,477
うち現預金・コール	9,603	11,035	+1,432
うち買入金銭債権	2,392	2,306	86
うち有価証券	415,600	409,144	6,455
うち貸付金	37,155	36,224	930
うち有形固定資産	11,788	11,581	206
うち繰延税金資産	13	14	+1
負債の部合計	469,919	468,345	1,574
うち保険契約準備金	438,940	433,310	5,629
うち責任準備金	429,225	424,084	5,141
うち退職給付に係る負債	4,438	4,438	0
うち価格変動準備金	1,552	1,599	+47
うち繰延税金負債	2,707	2,567	139
純資産の部合計	29,329	28,426	902
うち株主資本合計	11,292	11,215	77
うちその他の包括利益累計額合計	18,026	17,202	824
うちその他有価証券評価差額金	18,400	17,983	417
うち土地再評価差額金	164	176	11

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません。

第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

第一生命

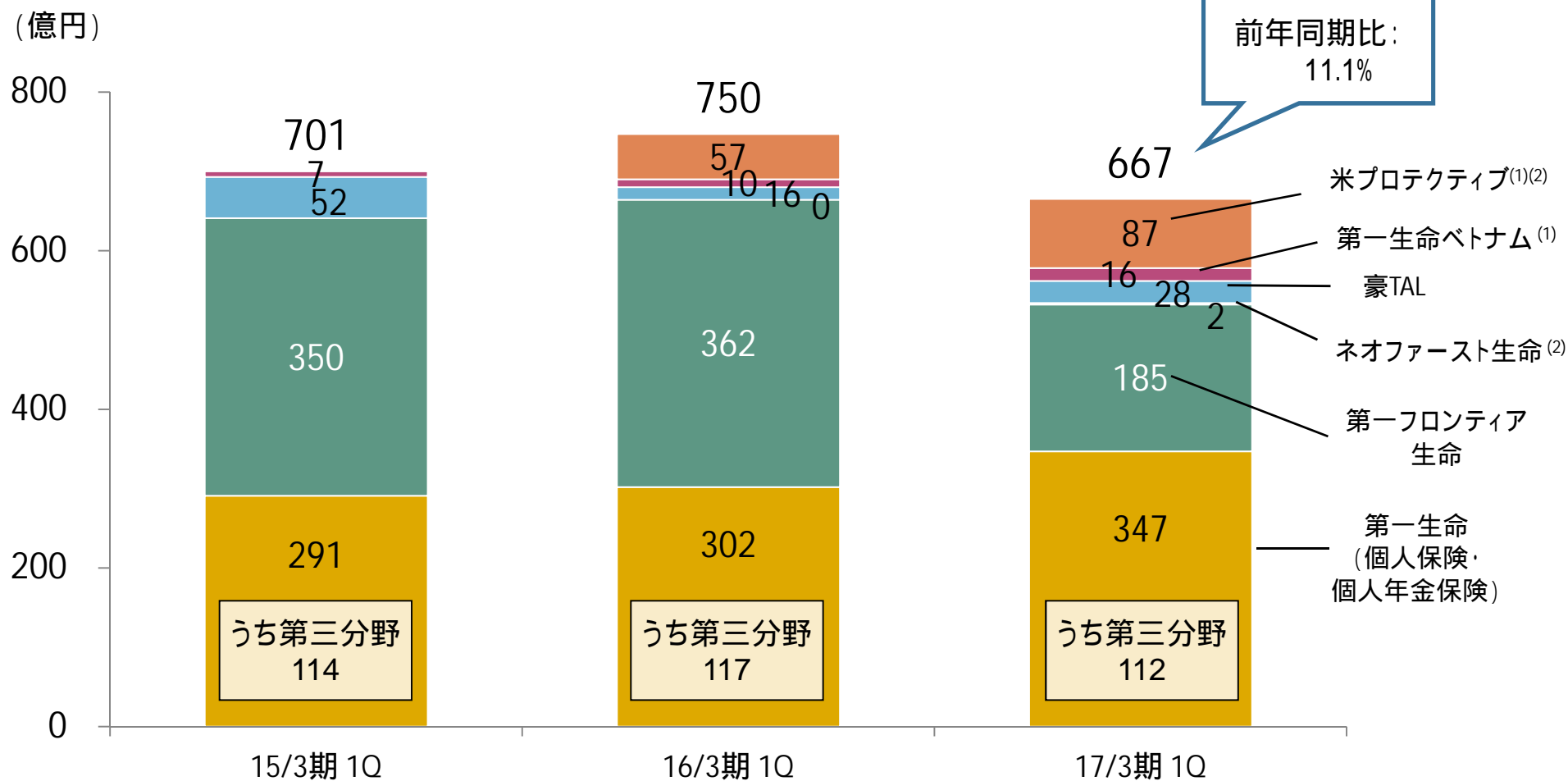
	【第一生命】 (億円)			【第一フロンティア生命】 (億円)			【米プロテクトティブ】 ⁽¹⁾ (百万米ドル)		【豪TAL】 ⁽¹⁾ (百万豪ドル)			【連結】 (億円)		
	16/3期 1Q	17/3期 1Q	前年 同期比	16/3期 1Q	17/3期 1Q	前年 同期比	16/3期 1Q (2-3月)	17/3期 1Q (1-3月)	16/3期 1Q	17/3期 1Q	前年 同期比	16/3期 1Q	17/3期 1Q	前年 同期比
経常収益	11,600	10,221	12%	4,890	4,513	8%	1,837	2,069	796	913	+15%	18,710	16,760	10%
保険料等収入	7,252	6,371	12%	4,317	2,332	46%	926	1,366	690	825	+19%	13,362	10,923	18%
資産運用収益	3,307	2,997	9%	573	321	44%	735	598	7	66	+836%	4,446	3,826	14%
経常費用	10,241	9,019	12%	4,546	4,723	+4%	1,744	1,897	768	848	+10%	16,899	15,584	8%
保険金等支払金	7,790	5,711	27%	1,487	1,432	4%	1,002	1,196	445	554	+25%	10,900	8,922	18%
責任準備金等繰入額	21	435	+1923%	2,806	--	--	432	317	94	91	3%	2,981	21	99%
資産運用費用	655	996	+52%	18	3,134	+17204%	22	135	56	10	81%	463	4,121	+789%
事業費	934	976	+4%	210	140	33%	114	189	148	165	+11%	1,452	1,503	+4%
経常利益(は損失)	1,359	1,202	12%	343	209	--	92	172	28	64	+129%	1,810	1,176	35%
特別利益	0	14	+1981%	--	--	--	--	--	--	--	--	0	14	+1859%
特別損失	52	152	+188%	5	7	+26%	--	0	--	0	--	58	159	+172%
純利益 ⁽²⁾ (は損失)	768	593	23%	309	217	--	62	115	27	44	+62%	1,152	484	58%

(1) 米プロテクトティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。

連結の際には、それぞれ1米ドル=120.17円(16/3期1Q)、112.68円(17/3期1Q)、1豪ドル=93.93円(16/3期1Q)、76.74円(17/3期1Q)で円換算しています。

(2) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

第一生命グループの新契約年換算保険料

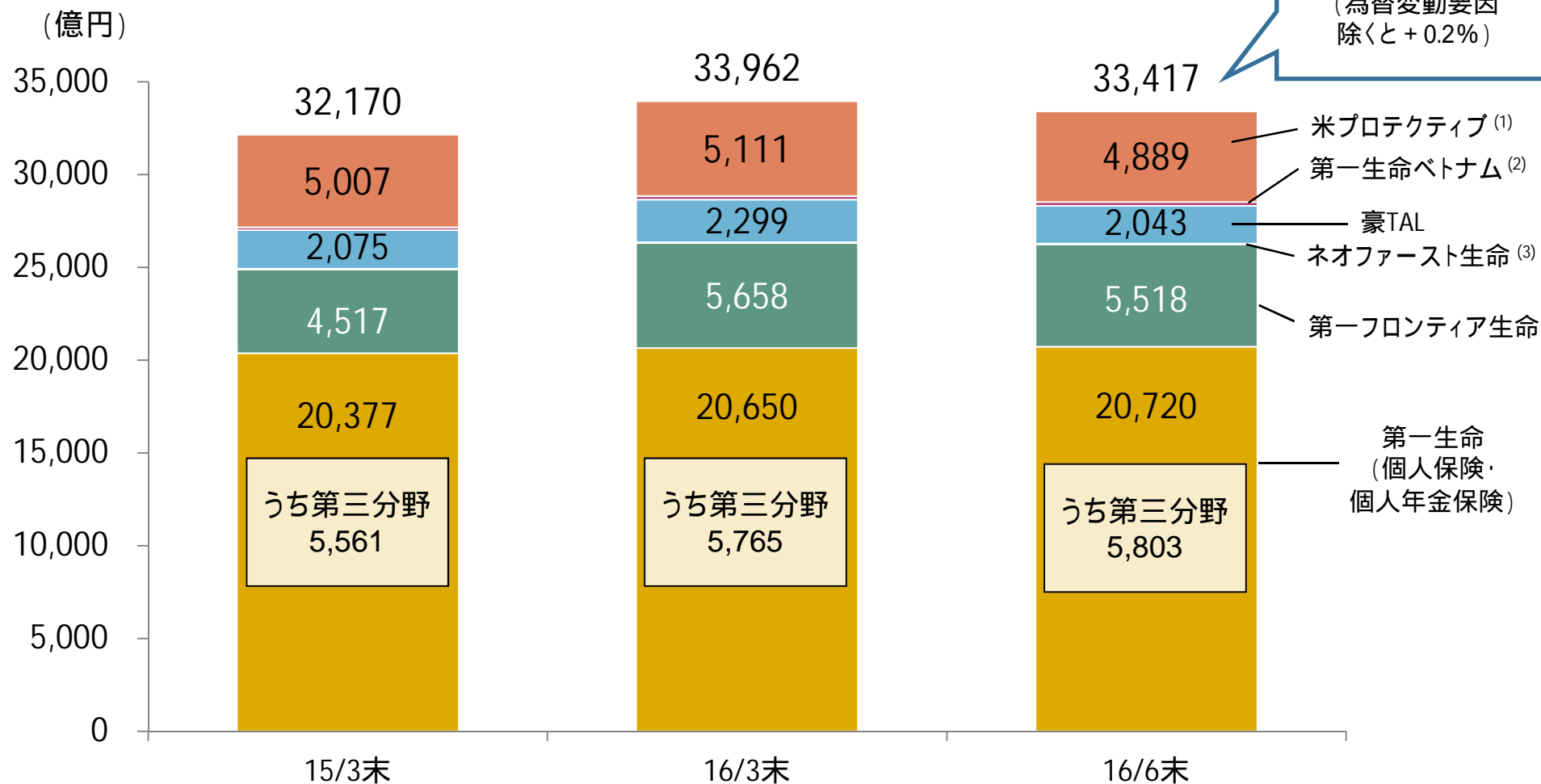


(1) 米プロテクティブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

(2) 米プロテクティブ、ネオファースト生命の実績は、16/3期1Q、17/3期1Qのみを記載しています。

第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの保有契約年換算保険料

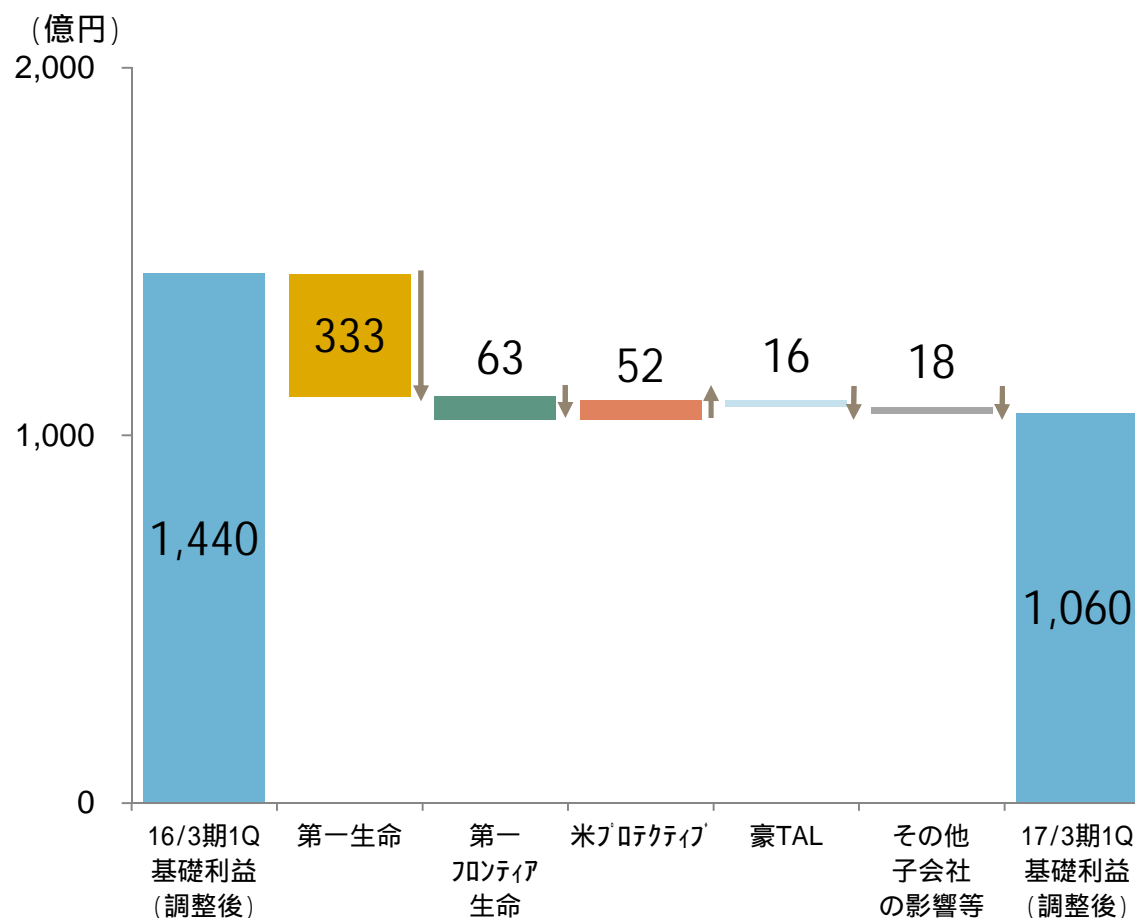
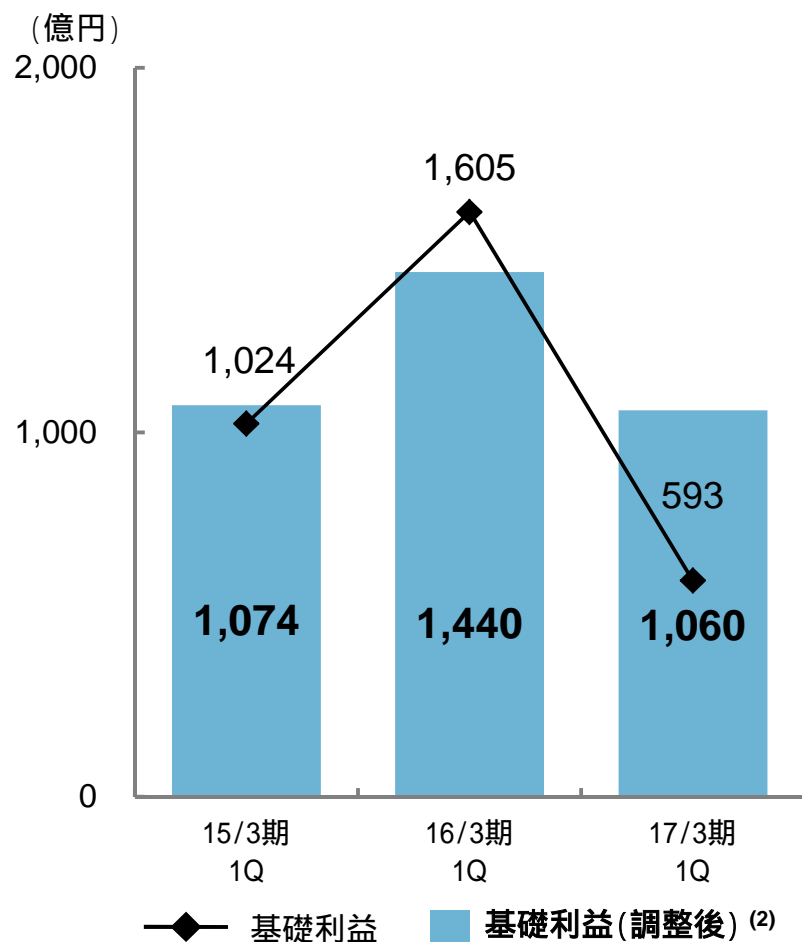


(1) 米プロテクトィブの決算日は12月31日です。15/3末の実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値を記載しています。
 (2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。15/3末、16/3末、16/6末の実績はそれぞれ155億円、203億円、203億円です。
 (3) ネオファースト生命の15/3末、16/3末、16/6末の実績は、それぞれ37億円、39億円、41億円です。

第一生命グループ業績 – 基礎利益の状況

基礎利益 (1)(2)

基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の基礎利益(16/3期1Q、17/3期1Qのみ)、米プロテクトティブの税引前営業利益(16/3期1Q、17/3期1Qのみ)、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

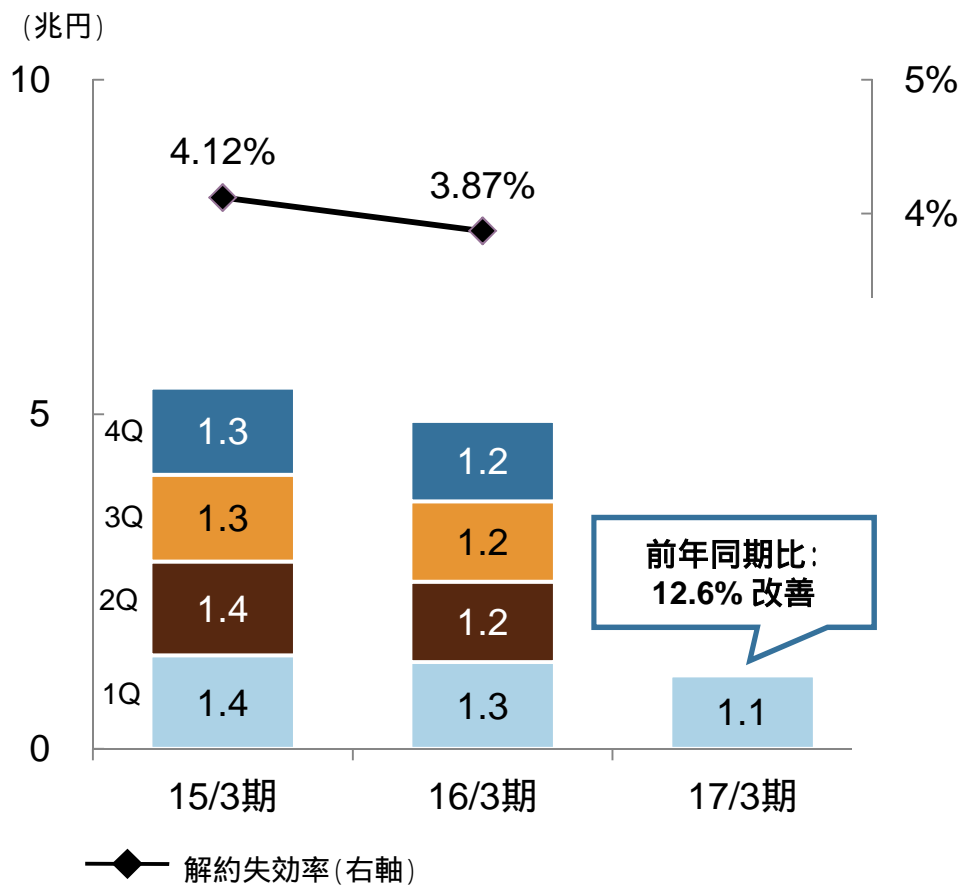
(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

第一生命単体業績 – 解約失効高、営業職員数

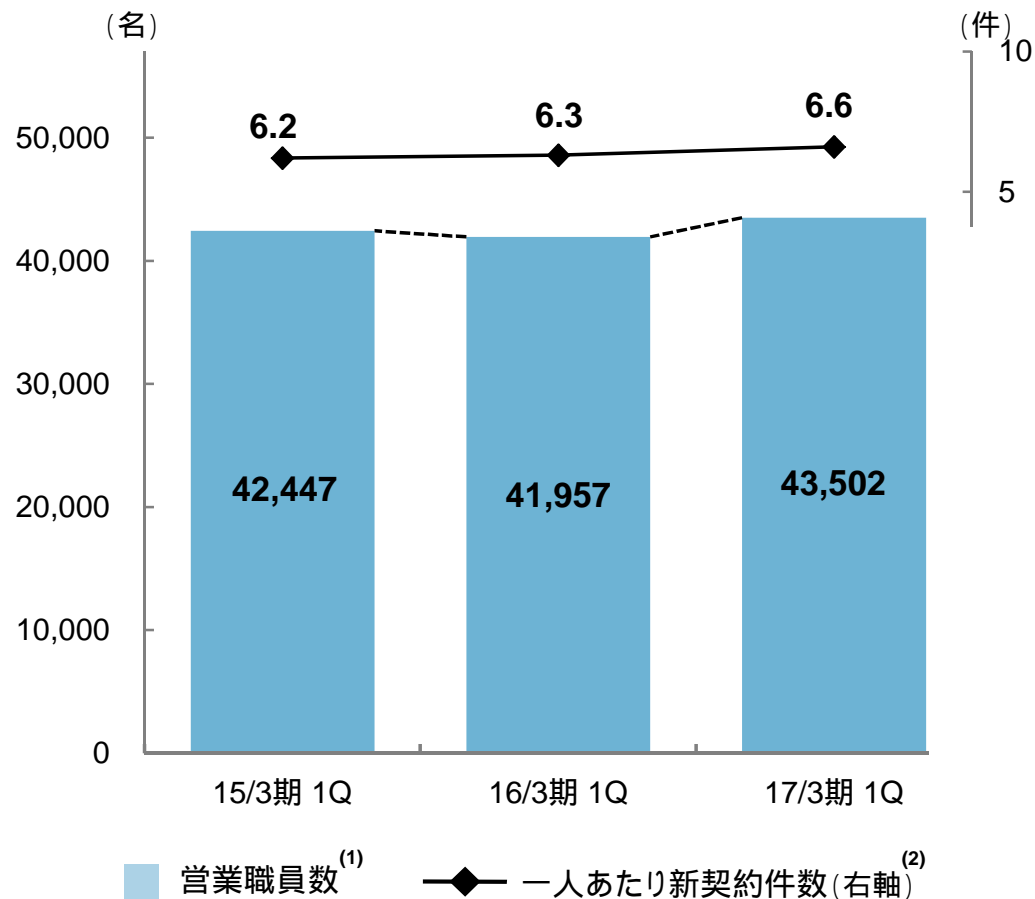
一生のパートナー

第一生命

解約失効高 (個人保険・個人年金)



営業職員数および生産性

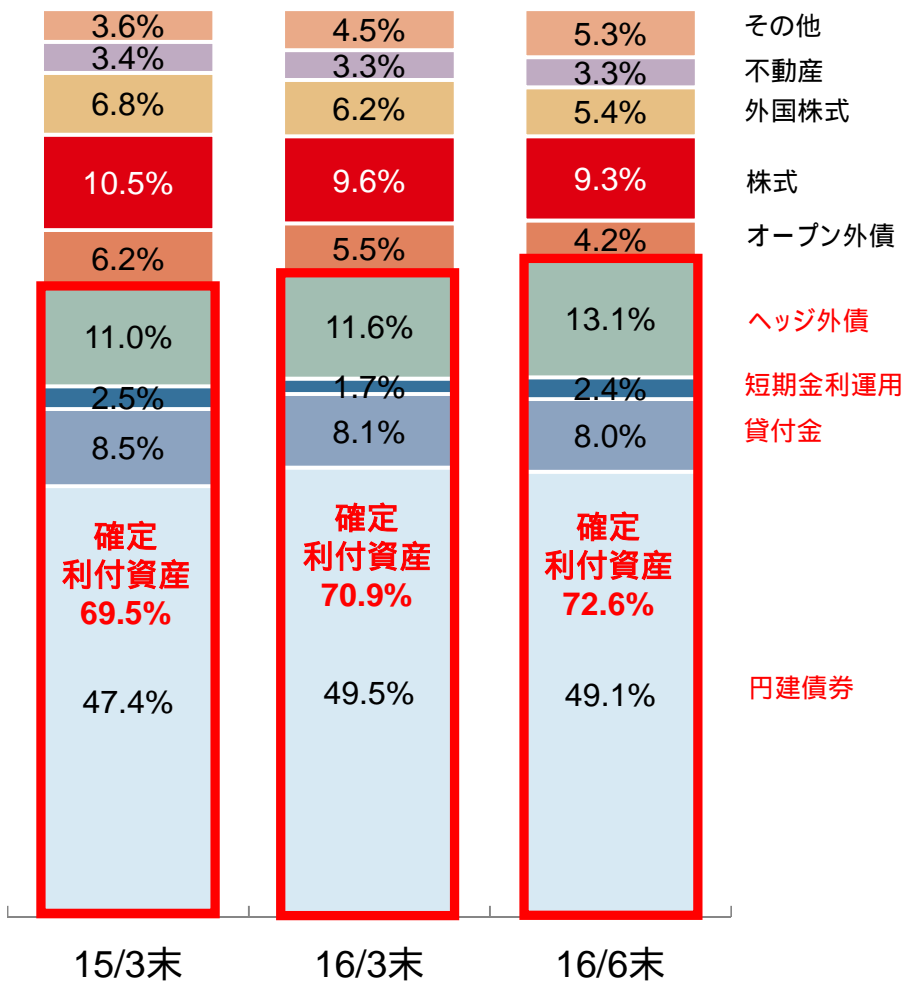


(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

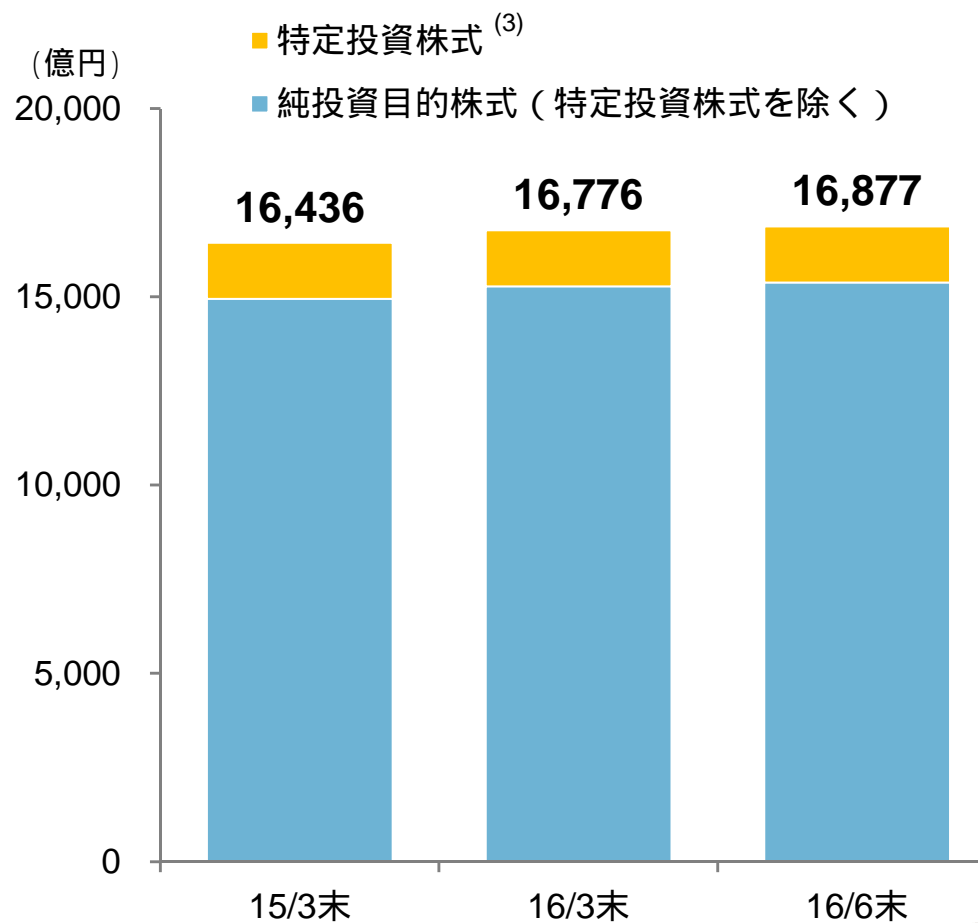
(2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

第一生命単体業績 – 一般勘定資産運用の状況

資産の構成 (一般勘定) (1)



国内株式の簿価 (2)



(1) 貸借対照表価額ベース

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。

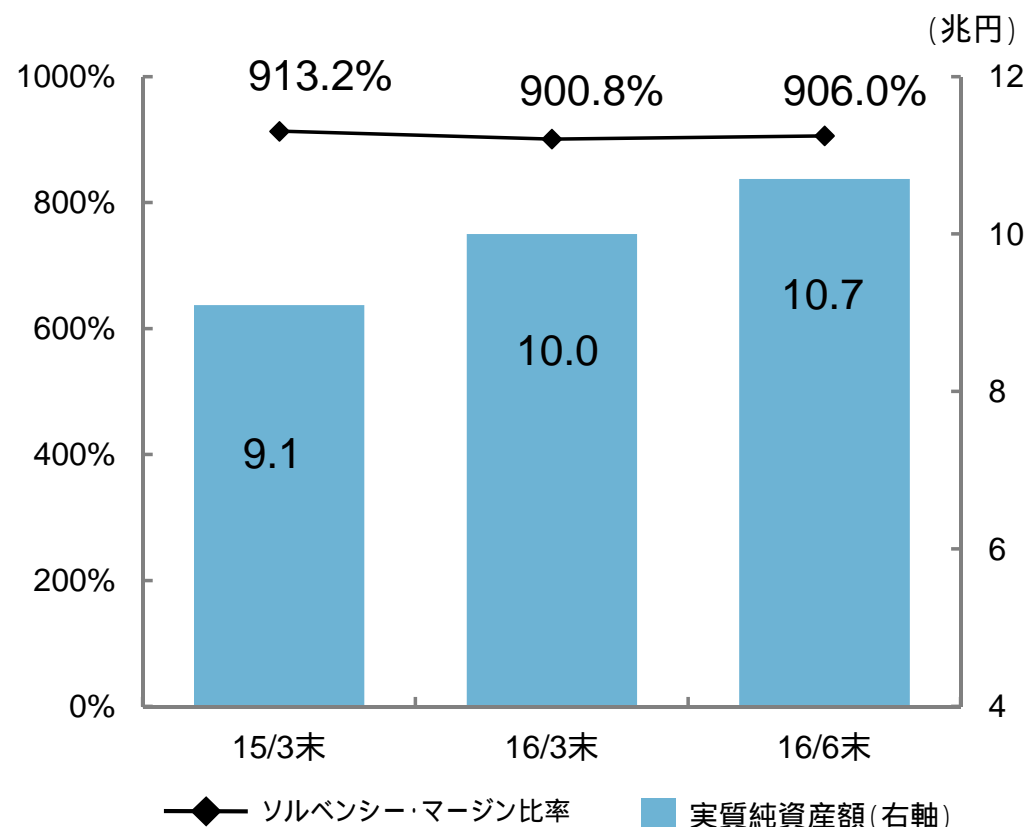
(3) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

含み損益(一般勘定)

(億円)

	16/3末	16/6末	増減
有価証券	62,120	68,403	+6,283
国内債券	40,229	49,915	+9,685
国内株式	13,128	11,860	1,267
外国債券	6,787	6,285	501
外国株式	1,720	408	1,312
不動産	1,303	1,335	+32
その他共計	63,346	70,036	+6,689

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額

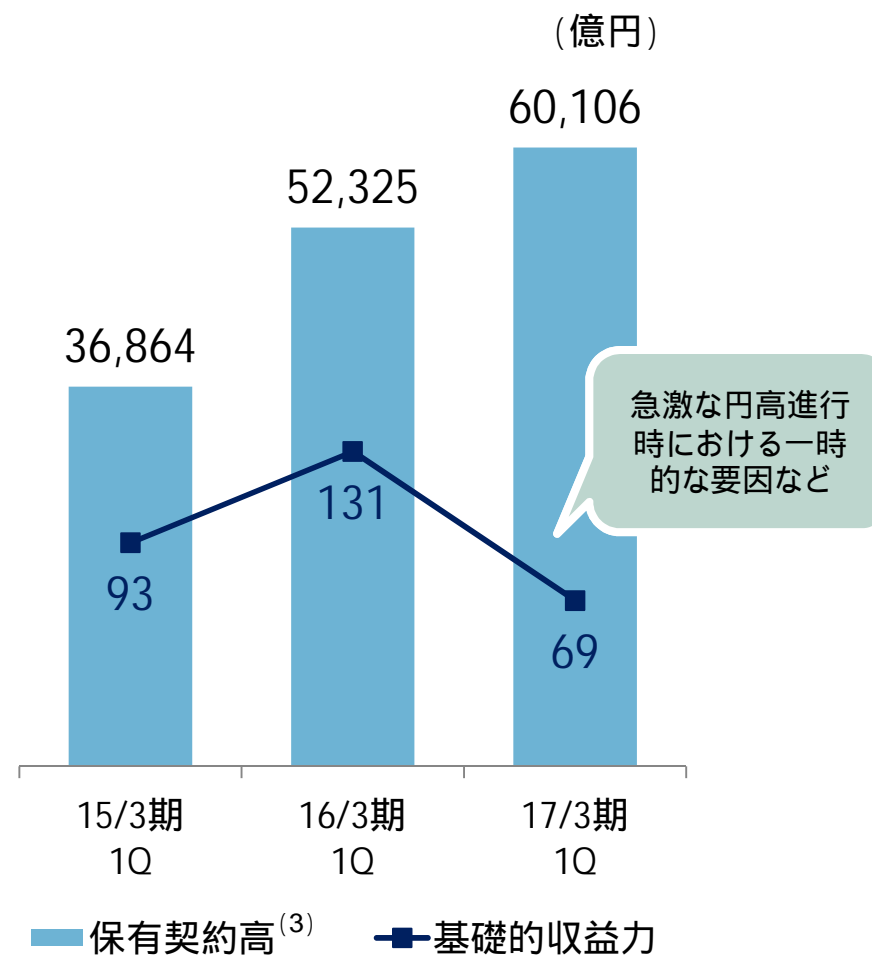


<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:
2016年6月末 785.0%

収支の状況

	(億円)	
	16/3期 1Q	17/3期 1Q
経常収益	4,890	4,513
うち保険料等収入	4,317	2,332
うち変額商品	469	155
うち円建定額商品	654	40
うち外貨建定額商品	2,659	1,826
うち資産運用収益	573	321
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	176
経常費用	4,546	4,723
うち責任準備金等繰入額(は戻入)	2,806	1,859
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(B)	17	316
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(C)	179	149
うち危険準備金繰入額(D)	44	2
うち資産運用費用	18	3,134
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	28	-
経常利益(は損失)	343	209
純利益(は損失)	309	217
(参考)基礎的収益力 純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	131	69

保有契約高と基礎的収益力



- (1) 定額部分と変額部分を組み合わせた商品は定額商品に分類
 (2) 17/3期1Qの責任準備金等繰入額(は戻入)には、その他経常収益に含まれる責任準備金戻入額と支払準備金戻入額の金額を記載しています。
 (3) 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

(3) 保有契約高は各期間の末日時点

主要業績 (1)(2)

(百万米ドル)

	16/3期 1Q(2-3月)	17/3期 1Q(1-3月)	
	実績	予算	実績
生保事業	3.4	16.2	13.7
買収事業	36.0	62.1	68.6
年金事業	38.1	55.6	53.6
ステーブルバリュ-事業	6.1	7.3	14.4
アセットプロテクション事業	4.0	5.8	5.3
コーポレート	1.8	18.8	13.7
税引前営業利益	89.7	128.2	142.0
キャピタル損益(運用収支)	42.9	n.a.	83.1
キャピタル損益(金融派生商品損益)	46.0	n.a.	53.3
法人税等	29.9	43.6	56.4
当期利益	62.8	74.2	115.3

< 参考 >

	15/3末		16/3末
為替レート(米ドル)	120.17	n.a.	112.68

(1) ミプロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期1Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年3月までの2ヶ月間の実績です。

(2) 税引前営業利益(Pre-tax Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

セグメント別 予算・実績比較

【生保事業】

- 予算対比で危険差益が減少

【買収事業】

- 予算対比で危険差益が減少したが、良好な利ざやを確保
- ジェンワース社から買収した定期保険ブロックが貢献開始

【年金事業】

- 予算対比で変額年金に係るフィー収入、利ざやなどが減少したが、危険差益は良好

【ステーブルバリュ-事業】

- 予算対比で良好な利ざやを確保

【アセットプロテクション事業】

- 一部の商品において、予算対比で支払が増加

主要業績

(百万豪ドル)

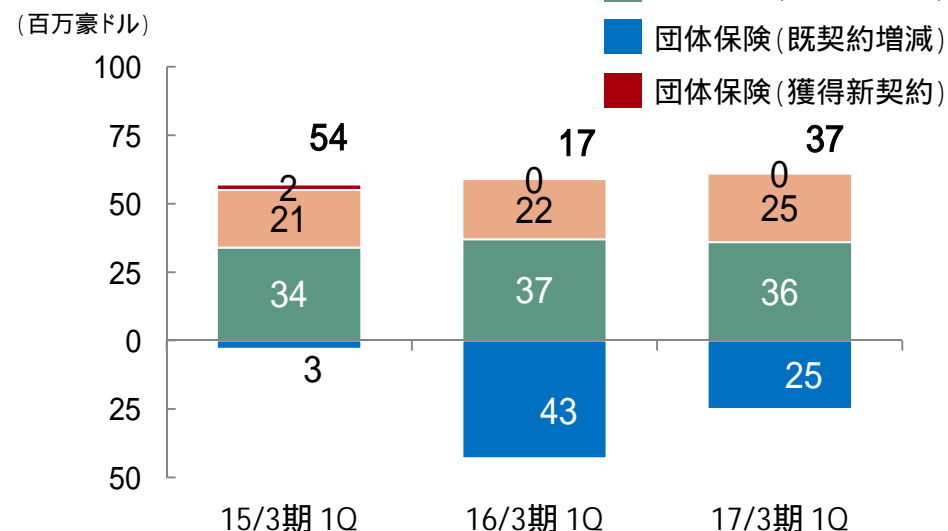
	16/3期 1Q	17/3期 1Q	前年 同期比
経常収益 (2)	796	913	+ 15%
うち保険料等収入 (2)	690	825	+ 19%
経常利益 (2)	28	64	+ 129%
純利益(A) (2)	27	44	+ 62%
修正額(B)	18	3	
うち負債割引率の変化	6	9	
うち償却負担	5	5	
その他	6	1	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	45	40	10%

<参考>

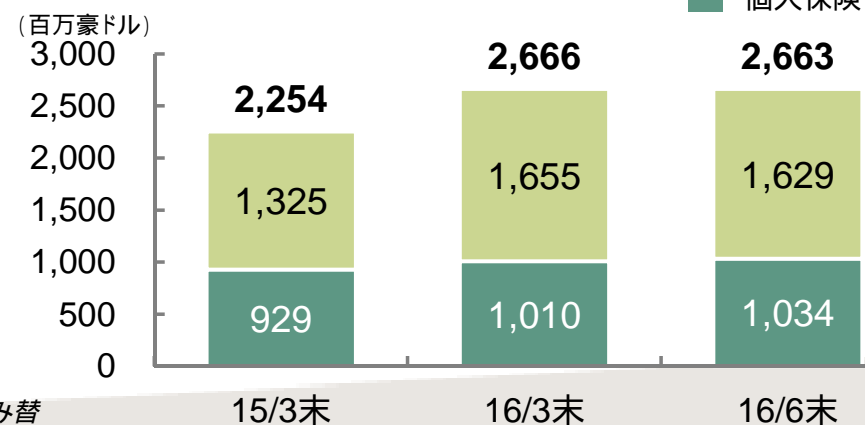
	15/6末	16/6末
為替レート(豪ドル)	93.93円	76.74円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



第一生命グループ業績予想 - 2017年3月期業績予想

一生涯のパートナー

第一生命

- 業績予想を据え置き。当四半期業績は、概ね計画に沿った進捗も、一時的な利益を含むため、今後の金融環境の推移を見守る必要あり。第一フロンティア生命の利益安定化策は今後一層強化する予定。

(億円)

	16/3期	17/3期(予)	増減
連結経常収益	73,339	64,600	8,739
第一生命単体 ⁽²⁾	42,657	37,960	4,697
第一フロンティア生命	19,675	14,010	5,665
プロテクティブ(百万米ドル)	6,784	8,460	+ 1,675
TAL(百万豪ドル)	3,231	3,900	+ 668
連結経常利益	4,181	4,060	121
第一生命単体	3,442	3,240	202
第一フロンティア生命	296	210	86
プロテクティブ(百万米ドル)	399	460	+ 60
TAL(百万豪ドル)	152	180	+ 27
連結純利益⁽¹⁾	1,785	1,970	+ 184
第一生命単体	1,291	1,330	+ 38
第一フロンティア生命	243	150	93
プロテクティブ(百万米ドル)	268	300	+ 31
TAL(百万豪ドル)	119	120	+ 0
1株当たり配当金	35円	40円	+5円

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

(2) 持株会社体制移行に伴う第一生命単体の考え方につきましては、詳しくは28ページをご覧ください。

(参考: 基礎利益)

第一生命グループ	5,351	5,000程度	351
第一生命単体	4,654	3,800程度	854

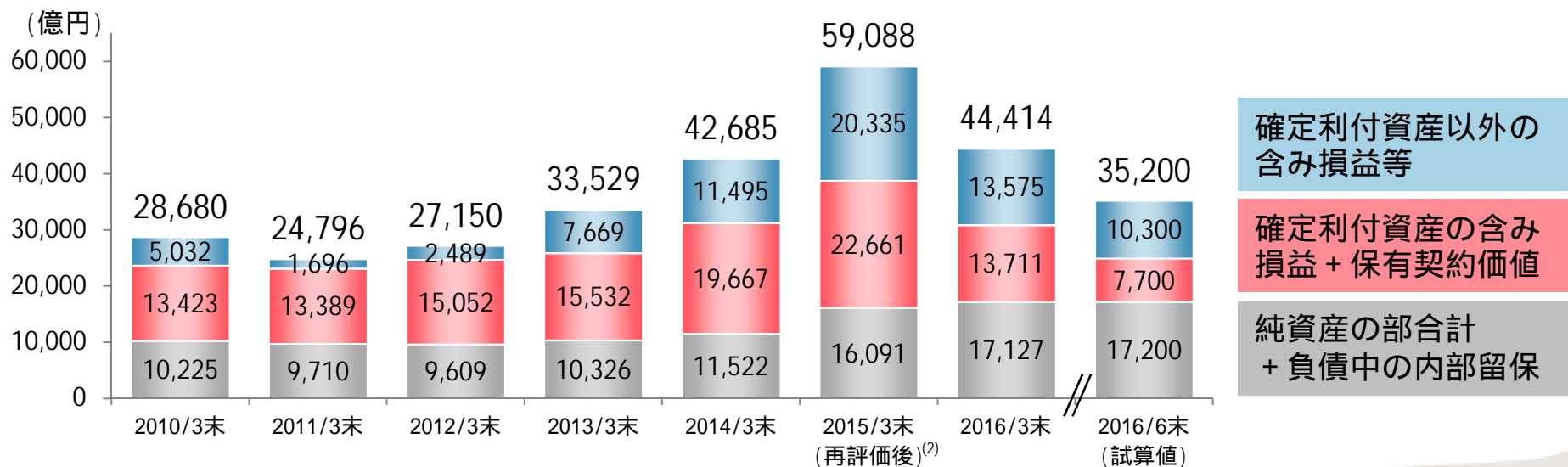
- 2016年6月末のグループEEV(試算値)は、主に金利低下の影響により、前期末比で減少
- 連結ソルベンシー・マージン比率は十分な健全性を維持しているが、7月には本邦保険会社では最大規模となる永久劣後特約付社債25億米ドルの発行を行い、自己資本を一層充実。

第一生命グループ(億円、試算値)

	16/3末	16/6末	増減
EEV	46,461	約37,300	約 9,200
修正純資産	62,873	約67,700	約 + 4,800
保有契約価値	16,412	約 30,400	約 14,000

第一生命単体 (億円、試算値)				資産・負債の対応を考慮した再分類		
	16/3末	16/6末	増減		16/3末	16/6末
EEV	44,414	約35,200	約 9,200	EEV	44,414	約35,200
修正純資産	64,833	約69,900	約 + 5,100	確定利付資産 ⁽¹⁾ 以外の含み損益等	13,575	約10,300
保有契約価値	20,419	約 34,700	約 14,300	確定利付資産の含み損益+保有契約価値	13,711	約7,700
				純資産の部合計+負債中の内部留保	17,127	約17,200

第一生命(単体)のEEV推移【資産・負債の対応を考慮した再分類】



(1) 「確定利付資産」は、円建債券、ヘッジ外債、貸付金等としています。

(2) 2015/3末のEEVは、終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載しております。

第一フロンティア生命(億円、試算値)

	16/3末	16/6末	増減
EEV	3,032	約3,000	約 100
修正純資産	1,838	約2,300	約 + 500
保有契約価値	1,194	約600	約 600

プロテクティブ(億円、試算値)

	15/12末	16/3末	増減
EEV	5,512	約5,800	約 + 300
修正純資産	4,149	約3,500	約 700
保有契約価値	1,363	約2,300	約 + 900

15/12末EEV: 15/12末の為替レート(1米ドル = 120.61円)を使用

16/3末EEV: 16/3末の為替レート(1米ドル = 112.68円)を使用

TAL(億円、試算値)

	16/3末	16/6末	増減
EEV	2,673	約2,500	約 200
修正純資産	1,359	約1,200	約 100
保有契約価値	1,313	約1,200	約 100

16/3末EEV: 16/3末の為替レート(1豪ドル = 86.25円)を使用

16/6末EEV: 16/6末の為替レート(1豪ドル = 76.74円)を使用

プロテクティブ(百万米ドル、試算値)

	15/12末	16/3末	増減
EEV	4,570	約5,100	約 + 600
修正純資産	3,440	約3,100	約 300
保有契約価値	1,130	約2,000	約 + 900

TAL(百万豪ドル、試算値)

	16/3末	16/6末	増減
EEV	3,099	約3,200	約 + 100
修正純資産	1,576	約1,600	約 + 0
保有契約価値	1,522	約1,600	約 + 100

参考データ

参考データ - 第一生命(単体)財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書(1)

(億円)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減
経常収益	11,600	10,221	1,379
保険料等収入	7,252	6,371	881
資産運用収益	3,307	2,997	310
うち利息・配当金等収入	2,033	1,848	184
うち有価証券売却益	938	540	397
うち金融派生商品収益	-	555	+555
うち特別勘定資産運用益	213	-	213
その他経常収益	1,040	853	187
経常費用	10,241	9,019	1,222
うち保険金等支払金	7,790	5,711	2,079
うち責任準備金等繰入額	21	435	+414
うち資産運用費用	655	996	+340
うち有価証券売却損	129	171	+41
うち有価証券評価損	14	91	+76
うち金融派生商品費用	192	-	192
うち特別勘定資産運用損	-	263	+263
うち事業費	934	976	+41
経常利益	1,359	1,202	157
特別利益	0	14	+14
特別損失	52	152	+99
契約者配当準備金繰入額	229	259	+29
税引前純利益	1,077	805	272
法人税等合計	308	211	96
純利益	768	593	175

貸借対照表

(億円)

	16/3末	16/6末	増減
資産の部合計	358,949	358,631	317
うち現預金・コール	6,452	8,425	+1,973
うち買入金銭債権	2,332	2,245	86
うち有価証券	302,501	297,140	5,360
うち貸付金	28,260	27,897	363
うち有形固定資産	11,641	11,447	193
負債の部合計	327,917	328,484	+566
うち保険契約準備金	306,352	306,570	+218
うち責任準備金	299,842	300,256	+414
うち危険準備金	5,760	5,805	+45
うち退職給付引当金	3,779	3,801	+21
うち価格変動準備金	1,484	1,524	+40
うち繰延税金負債	1,386	870	516
純資産の部合計	31,031	30,147	884
うち株主資本合計	11,755	11,790	+34
うち評価・換算差額等合計	19,266	18,347	918
うちその他有価証券評価差額金	19,469	18,278	1,191
うち土地再評価差額金	164	176	11

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書

(億円)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減
経常収益	4,890	4,513	376
保険料等収入	4,317	2,332	1,985
資産運用収益	573	321	251
その他経常収益	0	1,859	+1,859
うち責任準備金戻入額	-	1,858	+1,858
経常費用	4,546	4,723	+177
うち保険金等支払金	1,487	1,432	55
うち責任準備金等繰入額	2,806	-	2,806
うち資産運用費用	18	3,134	+3,116
うち事業費	210	140	69
経常利益(は損失)	343	209	553
特別損益	5	7	1
税引前純利益(は損失)	338	217	555
法人税等合計	28	0	28
純利益(は損失)	309	217	526

貸借対照表

(億円)

	16/3末	16/6末	増減
資産の部合計	61,322	60,248	1,074
うち現預金	1,184	769	414
うち有価証券	58,365	57,166	1,199
負債の部合計	60,463	59,435	1,027
うち保険契約準備金	59,481	57,621	1,859
うち責任準備金	59,411	57,553	1,858
うち危険準備金	1,146	1,143	2
純資産の部合計	859	812	46
うち株主資本合計	427	210	217
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	1,422	1,639	217

参考データ - 米プロテクトティブ財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書(1)(2)

(百万米ドル)

	16/3期 1Q (2-3月)	17/3期 1Q (1-3月)
経常収益	1,837	2,069
保険料等収入	926	1,366
資産運用収益	735	598
その他経常収益	176	104
経常費用	1,744	1,897
保険金等支払金	1,002	1,196
責任準備金等繰入額	432	317
資産運用費用	22	135
事業費	114	189
その他経常費用	172	57
経常利益	92	172
法人税等合計	29	56
純利益	62	115

貸借対照表(1)(2)

(百万米ドル)

	15/12末	16/3末	増減
資産の部合計	68,493	72,826	+4,332
うち現預金	397	354	42
うち有価証券	50,843	54,774	+3,930
うち貸付金	7,360	7,375	+14
うち有形固定資産	113	111	2
うち無形固定資産	2,663	2,896	+232
うちのれん	732	732	-
うちその他の無形固定資産	1,915	2,148	+232
うち再保険貸	165	174	+8
負債の部合計	63,912	67,781	+3,869
うち保険契約準備金	57,893	58,691	+797
うち再保険借	244	247	+3
うち社債	2,238	4,359	+2,120
うちその他負債	2,409	3,011	+601
純資産の部合計	4,581	5,044	+463
株主資本合計	5,822	5,848	+26
その他の包括利益累計額合計	1,241	803	+437

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

(2) 米プロテクトティブの決算日は12月31日です。16/3期1Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年3月までの2ヶ月間の実績です。

参考データ - 豪TAL財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書⁽¹⁾⁽²⁾

(百万豪ドル)

	16/3期 1Q	17/3期 1Q	増減
経常収益	796	913	+117
保険料等収入	690	825	+134
資産運用収益	7	66	+59
その他経常収益	98	21	77
経常費用	768	848	+80
保険金等支払金	445	554	+109
責任準備金等繰入額	94	91	2
資産運用費用	56	10	45
事業費	148	165	+16
その他経常費用	24	27	+2
経常利益	28	64	+36
法人税等合計	0	20	+19
純利益	27	44	+16
修正利益 (Underlying profit)	45	40	4

貸借対照表⁽¹⁾⁽²⁾

(百万豪ドル)

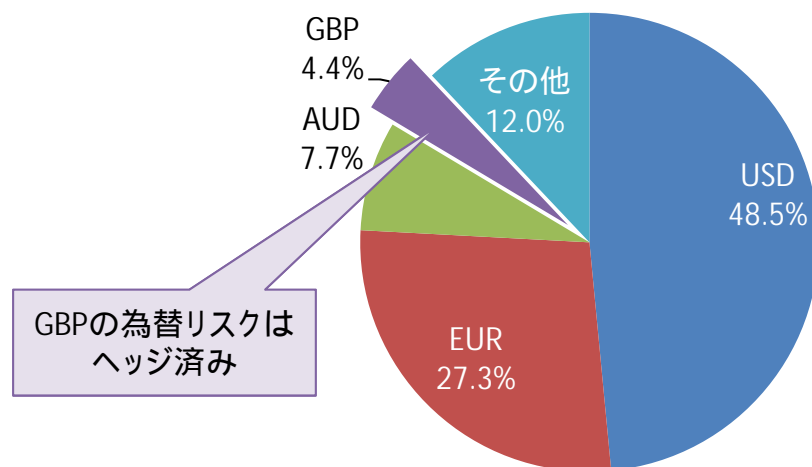
	16/3末	16/6末	増減
資産の部合計	7,043	7,083	+39
現預金	1,358	1,371	+13
有価証券	2,859	2,880	+21
有形固定資産	0	0	0
無形固定資産	1,207	1,199	7
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	420	413	7
再保険貸	148	165	+17
その他資産	1,470	1,464	5
負債の部合計	4,890	4,896	+5
保険契約準備金	3,491	3,536	+45
再保険借	332	312	20
その他負債	978	945	32
繰延税金負債	89	101	+12
純資産の部合計	2,152	2,187	+34
株主資本合計	2,152	2,187	+34
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	522	556	+34

(1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値

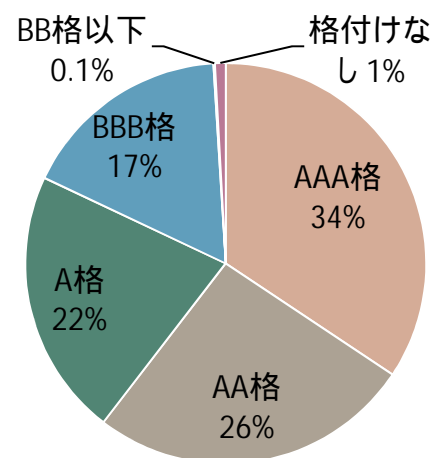
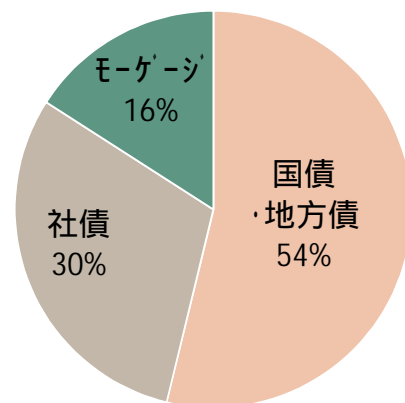
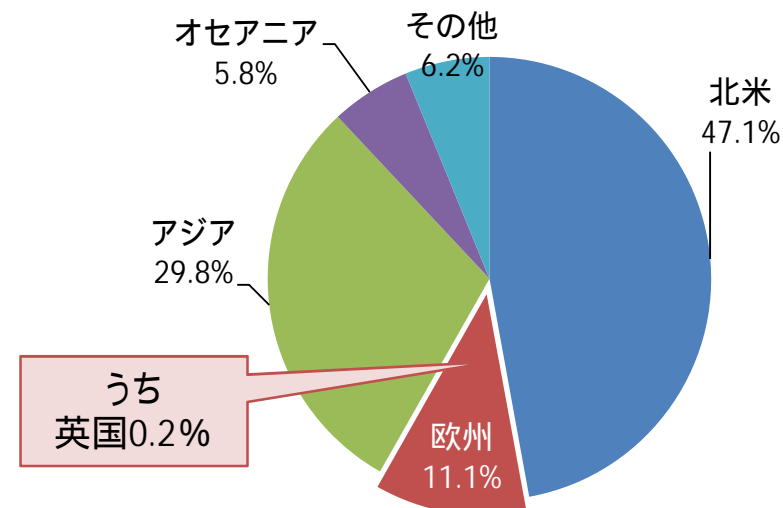
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております (修正利益を除く)

参考データ - 第一生命単体：外貨建債券・株式の状況(2016年6月末)

外貨建債券の通貨・種別・格付けの内訳(1)(2)



外国株式の地域別構成(1)(3)



(1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージを除く
 (3) 子会社株式、投資信託等を除く

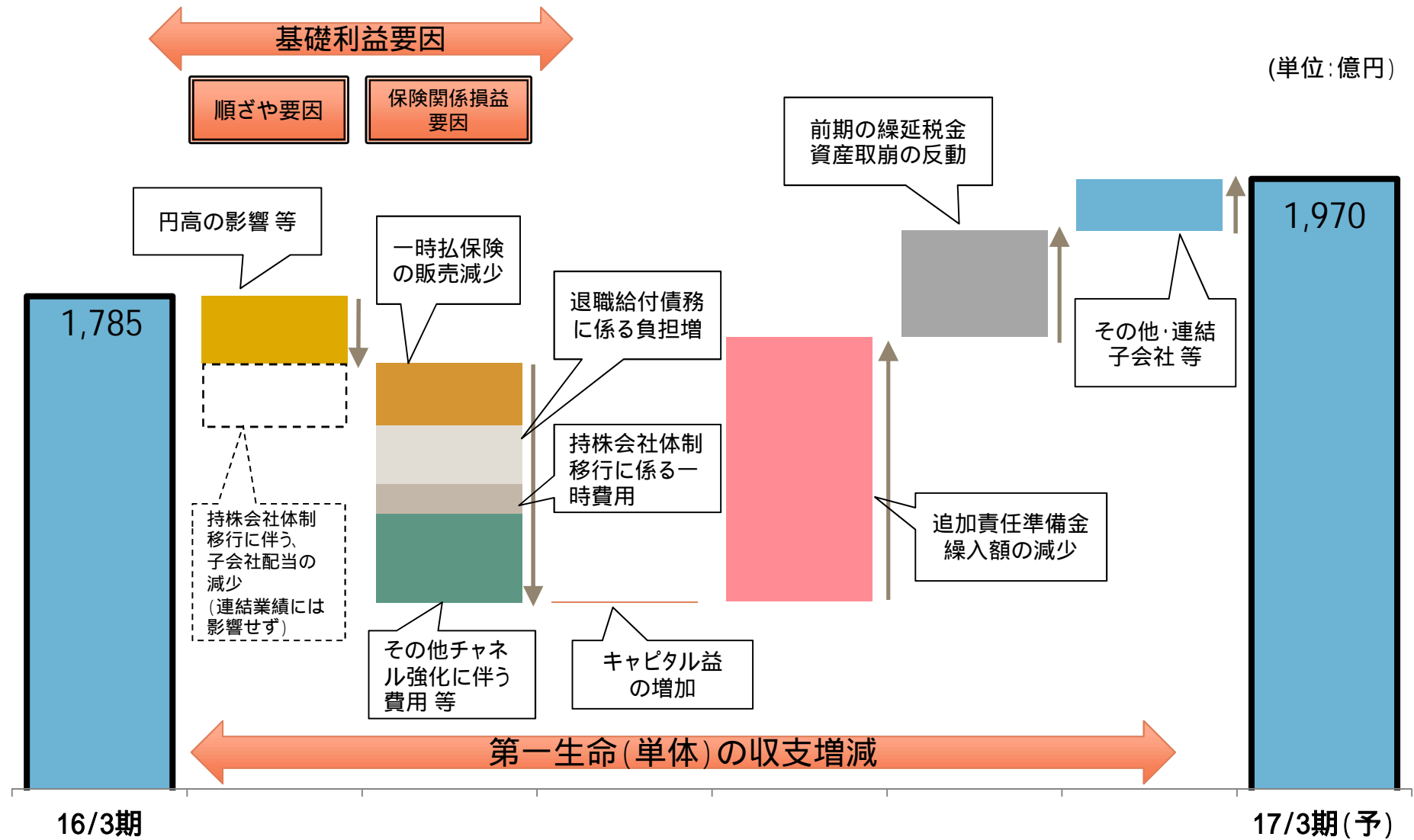
参考データ - 金融市場への感応度(2016年6月末、第一生命単体)

	感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2016年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥9,300 (2016年3月末: ¥9,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 3,000億円の増減 (2016年3月末:2,900億円) その他有価証券区分:400億円の増減 (2016年3月末:400億円)	10年国債利回り 1.4% (2016年3月末:1.3%) その他有価証券区分:1.4% (2016年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 260億円の増減 (2016年3月末:290億円)	ドル/円 \$1 = ¥103 (2016年3月末: ¥103)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

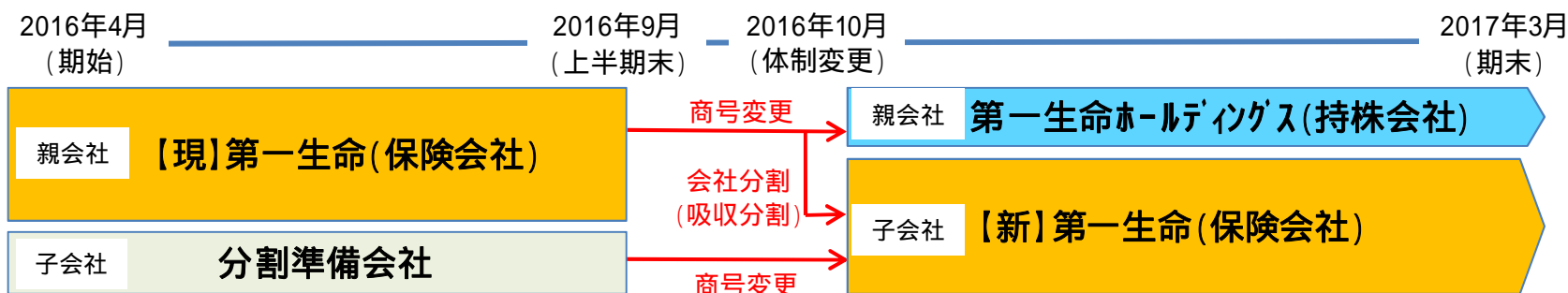
【再掲】連結純利益⁽¹⁾の増減要因分析(一時項目の影響)



(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

【再掲】 持株会社体制への移行に伴う、第一生命単体の収支状況の開示

- 当プレゼンテーション資料で示している第一生命単体の2017年3月期業績予想は、現在の第一生命単体(下図)の上期業績予想に、持株会社体制移行後の第一生命保険株式会社(同)の下期業績予想を合算したものです。第一生命分割準備株式会社(同)が計上する損益は限定的となる見込みです。
- 現在の第一生命単体の利息配当金等収入の一部には子会社・関連会社から支払われた配当が含まれています。持株会社体制への移行に伴い、第一生命ホールディングス株式会社傘下となる第一生命をはじめとする子会社・関連会社の配当は、第一生命ホールディングスの利息配当金等収入として計上されます。その分第一生命単体の収益は減少しますが、連結収支に対する影響はありません。
- 第一生命ホールディングスの収支は、経常収益が子会社からの配当収入や経営管理料が主要項目となり、経常費用は持株会社運営費用が主要項目となります。第一生命ホールディングスの17年3月期の業績予想は(下図)で示した通りです。
- なお、上場会社単体としての2017年3月期業績予想につきましては、28ページをご覧ください。



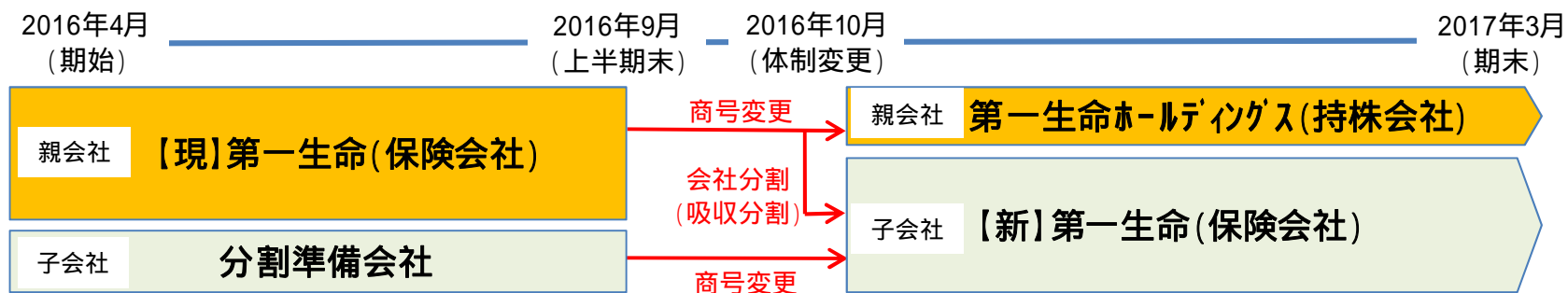
(億円)		(億円)		(億円)		(億円)	
第一生命単体 2017年3月期 業績予想		【現】第一生命(保険会社) 2016年4月1日～2016年9月30日		【新】第一生命(保険会社) 2016年10月1日～2017年3月31日		第一生命ホールディングス (持株会社) 2016年10月1日～2017年3月31日	
経常収益	37,960	=		19,290	+	18,670	180
経常利益	3,240			1,660		1,570	120
当期利益	1,330			680		650	120

【再掲】 参考データ - 上場会社単体としての2017年3月期業績予想

一生涯のパートナー

第一生命

- 当社は2016年10月1日に持株会社体制へ移行する予定です。持株会社体制移行までは現在と同様、第一生命として上場していますが、持株会社体制移行後は「第一生命ホールディングス株式会社」に商号変更の上、上場を継続します。
- そのため、上場会社単体としての2017年3月期業績予想につきましては、現在の第一生命単体の上期業績予想に第一生命ホールディングスの業績予想を合算した数値となります。



(億円)		(億円)		(億円)		
第一生命単体 2017年3月期 業績予想		【現】第一生命(保険会社) 2016年4月1日 ~ 2016年9月30日		第一生命ホールディングス (持株会社) 2016年10月1日 ~ 2017年3月31日		
経常収益	19,470	=		19,290	+	180
経常利益	1,790			1,660		120
当期利益	810			680		120

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2017年3月期第1四半期報告 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2017年3月期			2016年3月期	2016年3月期
		第1四半期	前年同期比	前年度末比	第1四半期	第1四半期
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	66,701	△ 11.1	—	75,011	387,292
うち第一生命分	(百万円)	34,705	+14.7	—	30,266	140,645
うち第三分野	(百万円)	11,291	△ 3.5	—	11,700	51,249
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	3,341,793	+2.5	△ 1.6	3,258,985	3,396,202
うち第一生命分	(百万円)	2,072,083	+1.6	+0.3	2,039,391	2,065,032
うち第三分野	(百万円)	580,387	+3.6	+0.7	560,255	576,556
連結保険料等収入	(百万円)	1,092,356	△ 18.3	—	1,336,290	5,586,000
保険料等収入(第一生命分)	(百万円)	637,133	△ 12.1	—	725,243	2,866,602
うち個人保険分野	(百万円)	442,393	△ 2.4	—	453,235	1,923,189
うち団体保険分野	(百万円)	186,116	△ 29.3	—	263,091	908,513
新契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	967,909	△ 10.9	—	1,086,033	5,063,879
うち第一生命分	(百万円)	751,767	+9.8	—	684,407	3,297,473
保有契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	129,948,250	△ 3.9	△ 1.2	135,158,449	131,497,494
うち第一生命分	(百万円)	123,353,899	△ 4.6	△ 1.1	129,293,752	124,721,652
解約・失効高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	1,205,420	△ 15.2	—	1,422,023	5,288,048
うち第一生命分	(百万円)	1,162,959	△ 12.6	—	1,331,314	5,065,766
解約・失効率(国内グループ生保合算値)	(%)	0.92	—	—	1.04	3.87
うち第一生命分	(%)	0.93	—	—	1.02	3.87

※前年同期比、前年度末比は増減比率

(注)1. グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクト、TAL、第一生命ベトナムの6社。国内グループ生保とは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の3社

2. プロテクト及び第一生命ベトナムの決算日は12月31日

3. 新契約年換算保険料(以下、新契約ANP)及び保有契約年換算保険料(以下、保有契約ANP)には、プロテクトの損害保険事業、TALの団体保険を含む

プロテクト	:2016年3月期	新契約ANP 5,718百万円(うち損害保険事業1,618百万円)	保有契約ANP 508,521百万円(うち損害保険事業27,622百万円)
	:2017年3月期	新契約ANP 35,685百万円(うち損害保険事業8,931百万円)	保有契約ANP 511,128百万円(うち損害保険事業28,574百万円)
TAL	:2016年3月期	新契約ANP 8,713百万円(うち損害保険事業2,200百万円)	保有契約ANP 488,988百万円(うち損害保険事業26,684百万円)
	:2017年3月期	新契約ANP 1,686百万円(うち団体保険△4,026百万円)	保有契約ANP 209,976百万円(うち団体保険120,432百万円)
	:2016年3月期	新契約ANP 49,484百万円(うち団体保険29,484百万円)	保有契約ANP 229,956百万円(うち団体保険142,765百万円)
	:2017年3月期	新契約ANP 2,846百万円(うち団体保険△1,939百万円)	保有契約ANP 204,384百万円(うち団体保険125,013百万円)

※TALの新契約ANPには、既契約における保険料改定等に伴う年換算保険料の増減を含む

4. 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)

5. 新契約高、保有契約高、解約・失効高、解約・失効率は個人保険+個人年金保険

6. 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」は含まない

②資産の状況等

(連結)

		2017年3月期		2016年3月期末
		第1四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	496,771	△ 0.5	499,249
実質純資産額	(億円)	110,965	+8.5	102,279
ソルベンシー・マージン比率	(%)	785.0%	+21.2	763.8%

(注)2017年3月期第1四半期会計期間末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

(第一生命単体)

		2017年3月期		2016年3月期末
		第1四半期会計期間末	前年度末比	
総資産	(億円)	358,631	△ 0.1	358,949
実質純資産額	(億円)	107,632	+6.9	100,729
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	30.8%	—	28.8%
ソルベンシー・マージン比率	(%)	906.0%	+5.2	900.8%

(注)2017年3月期第1四半期会計期間末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出

※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益

		2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
		第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間	第1四半期
グループ基礎利益	(百万円)	59,343	△ 63.0	160,527	535,139
うち国内グループ生保合算値	(百万円)	41,690	△ 71.5	146,227	467,443
うち第一生命	(百万円)	86,363	△ 28.0	120,006	465,441
うち第一フロンティア生命	(百万円)	△ 43,072	—	26,168	9,138
うちネオファースト生命	(百万円)	△ 1,600	—	53	△ 7,136
うち海外グループ生保合算値	(百万円)	17,653	+23.5	14,299	67,696

(注) グループ基礎利益には国内グループ生保の基礎利益、プロテクトのOperating Income、TALのUnderlying Profit(税引前換算)、

※前年同期比は増減比率

第一生命ベトナムの税引前四半期純利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値を掲載

④基礎利益の内訳
(国内グループ生保合算値)

		2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
		第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間	第1四半期累計期間
基礎利益	(百万円)	41,690	△ 71.5	146,227	467,443
うち最低保証に係る責任準備金等の増減による影響	(百万円)	△ 46,656	-	16,527	△ 39,558
うち基礎利益(最低保証に係る責任準備金等の増減による影響を除く)	(百万円)	88,347	△ 31.9	129,700	507,001

(注) 最低保証に係る責任準備金等の増減による影響とは、最低保証に係る責任準備金の増減による影響と、市場価格調整に伴う責任準備金の増減による影響を合算した数値
(最低保証に係る責任準備金等を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因になり、戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる)

(第一生命単体)

		2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
		第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間	第1四半期累計期間
基礎利益	(百万円)	86,363	△ 28.0	120,006	465,441
うち最低保証に係る責任準備金等の増減による影響	(百万円)	△ 37	-	272	439
うち基礎利益(最低保証に係る責任準備金等の増減による影響を除く)	(百万円)	86,401	△ 27.8	119,733	465,001

※前年同期比は増減比率

⑤準備金

		2017年3月期		2016年3月期末
		第1四半期会計期間末	前年度末比	前年度末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	29,445,059	+36,943	29,408,116
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	28,460,607	+71,149	28,389,457
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	984,452	△ 34,206	1,018,659
価格変動準備金	(百万円)	152,453	+4,000	148,453
危険準備金	(百万円)	580,593	+4,500	576,093
危険準備積立金	(百万円)	43,120	-	43,120
価格変動積立金	(百万円)	65,000	-	65,000

(注) 第一生命の実績を掲載

※前年度末比は増減額

⑥含み損益

		2017年3月期		2016年3月期末
		第1四半期会計期間末	前年度末比	前年度末比
有価証券	(百万円)	6,840,325	+628,315	6,212,010
うち国内株式	(百万円)	1,186,077	△ 126,729	1,312,806
うち国内債券	(百万円)	4,991,544	+968,555	4,022,989
うち外国証券	(百万円)	669,398	△ 181,436	850,834
不動産	(百万円)	133,544	+3,202	130,341
その他共計	(百万円)	7,003,625	+668,977	6,334,647

(注) 1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

※前年度末比は増減額

2. 第一生命の実績を掲載

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2016年6月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	9,300
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	750
国内債券	(%)	1.4
外国証券	(円)	103

(注) 1. 株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

2. 国内債券は10年新発国債利回りて換算し、小数点第1位まで算出

3. 外国証券はドル円換算にて算出

4. 第一生命の水準を掲載

⑧金融機関窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
			第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間	第1四半期累計期間
変額年金保険	新契約件数	(件)	16,823	△ 55.7	37,944	132,755
	金額(収入保険料)	(百万円)	88,676	△ 61.4	229,931	775,443
定額年金保険	新契約件数	(件)	3,677	+27.2	2,890	12,912
	金額(収入保険料)	(百万円)	17,016	+17.6	14,466	61,252

(注) 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

※前年同期比は増減比率

			2017年3月期		2016年3月期	2016年3月期
			第1四半期累計期間	前年同期比	第1四半期累計期間	第1四半期累計期間
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	4,397	+212.7	1,406	39,358
	金額(収入保険料)	(百万円)	32,503	+194.4	11,041	284,624
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	7,845	△ 53.0	16,691	74,755
	金額(収入保険料)	(百万円)	60,995	△ 49.7	121,319	550,027

(注) 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

※前年同期比は増減比率